

東風見聞録

チームイーストウインドが3年ぶりに本格始動！



左から駒井、横山、佐藤、田中

チーム・イーストウインドが3年ぶりに固定メンバーを結成し、4年計画で海外レース優勝を目指す。

チームメンバーは、国内外のアドベンチャーレース経験豊富なツワモノたち。ネオンエレメンツ、サムライスピリッツで活躍した横山峰弘、同じくネオンエレメンツ、サムライスピリッツのメンバーであった駒井研二、サムライスピリッツ、とれとれ東龍門で活躍した現役トライアスリートの佐藤浩巳、そしてキャプテンの私。

私がチームメンバーに求めた条件は3つ。第1に生活の中心にアドベンチャーレースを置く事、第2に長期的ビジョンを持って一緒にやっていける事、第3に肉体的に強い事。3人はその条件をクリアしたメンバーである。

新しく生まれ変わったチームイーストウインドは2008年へ向けて年間計画を持つ。

2005年：今や世界で最もレベルが高いと言われるスバルプライマルクエストまたはアドベンチャーレーシング・ワールドチャンピオンシップのシリーズとなるサザントラバースへの出場を予定。また、2008年を目指した基本体力のベースアップ、全種目の基礎技術のレベルアップとチーム内でのレベルの平均化を目指す。

2006年：報酬を得ながらトレーニングやレース活動ができるプロ化体制を目標とし、海外レースには3戦出場予定。

2007年：海外レースを7～8戦と多数出場し、経験を積む。

2008年：目標とする海外のビッグレースを1つ定め、それに向かって計画的に集中トレーニングをし、優勝を狙う。

アドベンチャーレーサーとしての普及活動

プロのアドベンチャーレーサーとしてレースに出場するばかりでなく、まだまだ発展中であるこの競技を、少しでも多くの人に知ってもらうためにも普及活動をしなければならない。これが私たちイーストウインドプロダクションの役目である。

私と伴侶である竹内靖恵の二人で立ち上げた「イーストウインドプロダクション」は、チームのマネジメント及びレース大会や講習会の企画・運営に携わる。既に決まっている活動はタブス・ザ・ノースフェイススノーシューレース主催、伊豆アドベンチャーレースの競技部門担当、里山アドベンチャーの運営、アドベンチャーレーシングクラブKOCci(コチ)運営などがあり、今年も大いに動き回るつもりだ。

チームスポンサー及びサプライヤー

チームイーストウインドが活動する上で欠かせないのがスポンサー及びサプライヤーである。このほどチームウェアをザ・ノースフェイス(TNF)が提供することに決定した。TNF製品は高品質でラインアップが多い上、チームの要望に応じて商品の試作、改良もする予定だ。TNF担当の山本剛氏、田口稔氏はアウトドアスポーツを愛し、アドベンチャーレースと一緒に盛り上げようと心から応援してくれている。そのことが何よりも嬉しいし、言葉に表せないほど感謝している。

現在チームは、メインスポンサーを初めとして各装備類のサプライヤーを探している。皆さんの応援、支援をお願い致します。



左からTNF山本氏、EW佐藤、EW田中、EW駒井、EW横山、TNF田口氏

田中正人がアドベンチャーレースを始めて10年目。多くの方にご支援を頂き、心より感謝をしています。田中をご支援くださった方々と久しぶりに酒を酌み交わしながら多彩な方面の談義を竹内がレポートしました。

お客様

総和産業(株)代表取締役 牧野哲司さん

田中が8年勤めた化学工業会社で1年後輩だった牧野哲司氏。会社勤めの頃の牧野と田中は、すこぶる暴れ者だった。田中がアドベンチャーレーサーに転向すると同時期、牧野氏も退社し、別会社に係長待遇で転職。そこで培ったノウハウを活かし、現在はプラスチックリサイクル工場を経営している。



ビジネスとして成功するっていう匂いがしたんです

田中 「なぜプラスチックリサイクルの会社を興そうと思ったんですか？」

牧野 「28歳で化学会社からプラスチックのシートメーカーに係長待遇で転職したんです。その時に、その会社で55歳で社長になると決めたんです。そうすると50歳で専務、45歳で部長、30代後半で課長になると計画したんです。結局32歳で課長になれました」

田中 「計画より早かったですね」

牧野 「はい。課長になると対外的な仕事も増えてね。渉外先の商社と「これからはプラスチックリサイクルの時代だ」って話になったんです。丁度、父親がプラスチック加工業を営んでいたんで、じゃ、そこにリサイクル部門を立ち上げようと思ったのが始まりです」

田中 「立ち上げた頃は苦労があったでしょ？」

牧野 「リサイクルなので、まずはプラスチックの排出先が必要になります。それを探す事から始まりましたね。最初は1軒1軒開拓してまわりました。プラスチックの産廃回収は料金がかかるけど、うちはリサイクル回収なので無料。なので回収は結構簡単でしたが、リサイクル品を販売するのに3年掛かりましたね。1~2年目は回収、3年目に販売をもって行きました」



田中 「課長まで昇進した会社を辞めてまで、今の会社を興そうと思ったのは何が理由だったんですか？」

牧野 「確かに後20年もすれば社長になるはずの会社だったのに、もったいないとも思いましたけど(笑)。まあ、ひとつには親が引退の時期を迎えていたのもありますが、何よりもビジネスとして成功するっていう匂いがしたんです。こっちの仕事の方が面白そうだな~ってね(笑)」

田中 「従業員は何人？」

牧野 「会社を始めた平成12年年頃は私を入れて6人。今は社員16名とインドネシアからの実習生4名です。」

田中 「社長としてどうやって統率を図っているの？」

牧野 「会社の方向性をしっかり示すことですね。ウチはプラスチックを扱っているんですが、計算すると年間におよそ7000トンの原油をリサイクルしている事になります。なので環境に優しい会社だって伝えていきます。例えば作業服を樹木色の緑にしたイメージ作りも大切にしている。」

お人よし経営者の会社は伸びない

田中 「今後の目標は？」

牧野 「中期ビジョンとしては関東圏トップ。プライスリーダーになりたいですね。ウチが単価60円で売れば、同業他社も60円でしか売れないとかね。」

田中 「それが最終的なビジョン？」

牧野 「最終的なビジョンはまだ考えていないですね。今まだ突っ走っている最中なので、とりあえず中期ビジョンしか持っていないです」

田中 「牧野さんは社員には厳しい方？」

牧野 「バリバリに厳しいです(笑)私の経験上、お人よしの経営者は会社が伸びない。人付き合いと会社の経営はまったく別なんです。あの社長はいい人だな~と言うところの会社はだいたい潰れてしまいますね。対外的にも社内的にも細かいところに目が届き、精力的にばりばり仕事をする人が経営する会社は伸びてますね」

田中 「でも中にはどうしても人にきつく言えない人もいるんじゃない？変えなくちゃいけないと思っても変えられない人とか。」

牧野 「人は変わりますよ。以前、ある従業員に工場長を任命した時、考えさせてくれて言われたんですよ。彼の周りは年上ばかりだから無理もないですけどね。で、工場長になってからやっと1年して明確に指示が出せるようになったんです。思ったより何十倍も時間はかかったけど(笑)その時に人は変わるんだなって思いました」

田中 私も一経営者として見習うことが多いです。

牧野哲司(まきのてつじ)

1965年、茨城生まれ。総和産業株式会社代表取締役。類稀なエネルギーを放つ計画と実行の人。

KOCCi monthly

「アドベンチャーレース」ってやってみただけで、何からはじめたらいいの? という人のために結成されたのが『アドベンチャーレーシングクラブKOCCi』。「KOCCi(こち)」は、イーストウインドの和語「東風」の古文読みで、その名の通り、春先に東方から吹く穏やかなそよ風を意味しますが、「一つ巖東風の怒濤に突き進む」など強く逞しい意味も持ちます。国内外のアドベンチャーレースに出場するために行われるトレーニング・クラブです。もちろんアドベンチャーレースに興味のある方だったら誰でも入れます。

Voice of KOCCi Members! メンバーの声



小湊貴裕(こみなとたかひろ)

大学時代にはライフセーバーとして海岸を走りまわっていました。現在は多摩オリエンテーリングクラブにも所属してオリエンテーリングに勤しんでいます。昨年はあまりKOCCiの活動に参加できずに悔しい思いをしましたので、今年はKOCCiで本格的にトレーニングをして、めいいっぱいレースに出場していこうと思います。また、メンバーも探していますので、一緒にレースに出てくれる人がいらっやいましたら是非お願いします!!

アドベンチャークラブKOCCiメンバー募集中!

【年会費】 6,000円

【会員特典】 講習会、練習会の参加費割引
KOCCiオリジナルTシャツプレゼント
提携するショップ、ツアー、スクール、民宿の割引
各講師によるクリニック
会員専用サイト加入



詳細または入会フォームはこちらから! <http://www.east-wind.jp/kocci2004/index.html>

アートスポーツ・OD-BOX エイアンドエフ コロンビアスポーツウェア
ザ・ノースフェイス サロモン&テラーメイド モントレイル Go Lite
アドベンチャーレーシングクラブKOCCiは以上の皆様から応援を受けています!

アドベンチャーレーシングクラブKOCCiではご支援くださるスポンサーを募集しています!

『アドベンチャーレーシングクラブKOCCi』は、特定企業のスポンサーではなく、複数企業のスポンサーを公平にお受けしての運営を希望します。その理由として、多くの企業と協同することにより、アドベンチャーレースをさらに発展させていく可能性を広げるため アドベンチャーレースを参加者だけではなく、多くの企業にも広めるため クラブ員等に多くの企業、商品などを紹介して、アウトドア業界全体の活性化を図るため クラブ員のニーズに合わせた装備を幅広く紹介するためです。

イーストウインドプロダクション 2月の関連イベント

日程	レース名	開催地	田中の担当業務	KOCCi特典
2/12-13	全日本山岳スノーシューイングレース	妙高高原・池の平スキー場周辺	コース設定、運営協力	
2/19-20	谷川岳雪洞キャンプツアー	群馬県谷川岳	加藤幸光氏と合同でのツアー企画	
2/27	タブス・ザノースフェイス スノーシューレース	群馬県・水上高原スキー場	主催	スノーシューレンタル半額、カップコテージ1,000円引